

国民スポーツ大会の参加におけるアンチ・ドーピング教育の義務化について

第 80 回国民スポーツ大会から、大会に参加する選手、監督、本部役員帯同のスポーツドクター、アスレティックトレーナー及び保護者は、本大会又は冬季大会の実施要項にて競技毎に設定された**本戦参加申込締切前の 1 年以内から同参加申込締切日まで**に日本スポーツ協会が指定するアンチ・ドーピング教育を受講した者であることが参加資格となりました。

1. 各競技団体（監督）の役割

- (1) 選手、監督、スポーツドクター、アスレティックトレーナー及び少年種別に出場する選手の保護者に対し、実施要項に基づき大会本戦参加申込前の 1 年以内から同参加申込締切日までアンチ・ドーピング教育を実施するとともに、その受講の徹底及び指導を行う。
- (2) 選手の「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」にある「国民スポーツ大会選手カード」のアンチ・ドーピング教育履歴の記載（選手自身が記入する）を確認した上で、国スポ参加申込システムから参加申込を行う。
- (3) 監督、スポーツドクター、アスレティックトレーナーの「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング教育履歴確認カード」に記載のアンチ・ドーピング教育履歴の記載（監督等自身が記入する）を確認した上で、国スポ参加申込システムから参加申込を行う。

※国スポ期間中、選手は常に、選手の記名がなされている「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」（以下「国スポ同意書」という。）を携帯することが求められています。選手が18歳未満の場合は、保護者（親権者）が国スポ同意書の内容を確認の上、記名が必須です。また、ドーピング検査対象となり、検査員が国スポ同意書の提出を求めた場合は、検査時に提示をするよう対応ください。なお、最新の国スポ同意書はJSP0のHPからもダウンロードできます。

《国スポドーピング検査・なぜ国スポでドーピング検査か？》

<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/doping/tabid539.html>

2. アンチ・ドーピング教育内容

(1) 受講対象者

国民スポーツ大会本戦に参加する選手、監督、スポーツドクター、アスレティックトレーナー及び保護者。

(2) 有効期間

大会実施要項にて競技毎に設定された本戦参加申込締切前の1年以内から同参加申込締切日まで

(3) 方法及び内容

下記に定める①もしくは②の方法及び内容を満たすこと

①WEBによるデジタルラーニングとし、JSP0が指定するアンチ・ドーピング教育動画の視聴及び「クリーンスポーツ行動チェック(リアルチャンピオンクイズ)」を回答すること

《参考》

日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のホームページ内サイト

[JADAクリーンスポーツ・アスリートサイト](https://www.realchampion.jp/)

<https://www.realchampion.jp/>



[国スポ出場者及びサポートスタッフ向け教材 | JADAクリーンスポーツ・アスリートサイト](https://www.realchampion.jp/who/kokutai_education.html)

https://www.realchampion.jp/who/kokutai_education.html

② 次の(a)～(f)の団体が主催する研修会・講習会及びその他JSP0が認めるもののうち、アンチ・ドーピング活動に関する内容をJADAが承認したEducator (JSP0-Educator) またはJADAが認定したEducatorが講師を務める研修、もしくは、スポーツドクター・スポーツファーマシスト等による研修を修了すること。研修では、JADAが提供する研修スライドの活用を推奨する。

(a) JSP0 (b) JADA (c) 日本オリンピック委員会(JOC) (d) 中央競技団体
(e) 都道府県スポーツ協会 (f) JSP0加盟関係スポーツ団体 (g) その他JSP0が認めるもの*

* 例) 都道府県競技団体主催、全国高等学校体育連盟の専門部または都道府県高等学校体育連盟、都道府県中学校体育連盟主催の研修会・講習会や JSP0 公認スポーツ指導者資格更新研修会と認められている

(4)「国民スポーツ大会選手カード」のアンチ・ドーピング教育履歴の記載

国民スポーツ大会に参加する選手は必ずこの用紙に署名の上
大会期間中は常に携帯してください。

国民スポーツ大会ドーピング検査 同意書

公益財団法人日本スポーツ協会 御中

私は、国民スポーツ大会への参加にあたり、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構ウェブサイトにおいてドーピング検査手続き、規則、注意事項等を熟読、理解し、以下のことに同意します。

- ① 参加する大会の実施要項総則及び日本アンチ・ドーピング規程を遵守し、ドーピング検査を受けること
- ② アンチ・ドーピング規則に違反した場合、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」に従うこと、また処分や裁定の内容に不服の場合、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構に仲裁を付託し、その判断に従うこと

____年 ____月 ____日

選手氏名 (自署) _____

生年月日 (西暦) ____年 ____月 ____日 性別 ____男・女

選手が18歳未満の場合

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 御中

私、〔親権者氏名〕 _____ は、

〔18歳未満の競技者〕 _____ (以下「甲」)の親権者としてJADAウェブサイト(<http://www.plaviruejapan.org/>)にて最新の日本アンチ・ドーピング規程等を含むドーピング検査、検体の分析、結果の管理、その他の日本アンチ・ドーピング規程等において定められる一連の手続 (以下「ドーピング・コントロール手続」) 等について説明しているすべての内容を熟読し、理解し、甲へ当該内容を指導した上で、甲が国民スポーツ大会へ参加し、ドーピング検査の対象となり、採取検体の種類を問わずドーピング検査を受けることに同意し、ドーピング・コントロール手続に服することに對して異議を申し述べません。また、上記国民スポーツ大会ドーピング検査同意書にも同意します。

なお、ドーピング・コントロール手続においては、2021年版日本アンチ・ドーピング規程等で定義されている通り、18歳未満を未成年 (Minor) として扱うものとし、18歳、19歳については、原則として、成人と同様の手続にてドーピング検査をはじめとするドーピング・コントロール手続が実施される旨も理解いたしました。

____年 ____月 ____日

親権者 (自署) _____
(法定代理人親権者)

国民スポーツ大会 選手カード

選手本人
顔写真
貼付

タテ 4cm×ヨコ 3cm

氏 名 _____

所属都道府県 _____

競技・種目名 _____

【国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴】

国スポ本戦出場前に受講したアンチ・ドーピング教育について記入してください。

- ① WEBによるデジタルラーニング及び「クリーンスポーツ行動チェック」への回答

② JSPO指定研修会等受講
____番を ____年 ____月 ____日に受講済み
(受講内容: _____) 修了証NO: LV _____ (8桁)

※受講内容には①動画名称、②研修の主催者・名称、のいずれかを記入

※①を選択した場合には、「クリーンスポーツ行動チェック」の修了証NOを記載

【選手が18歳未満の場合、保護者のアンチ・ドーピング教育履歴】

____番を ____年 ____月 ____日に受講済み
(受講内容: _____) 修了証NO: LV _____ (8桁)

- この内容は、国スポ本戦出場前に必ず記入すること。
- 大会期間中または大会期間後に主催者等から提示または提出を求められることがあるため、大会期間中は常時携帯の上、大会終了後も大切に保管しておくこと。

※教育に関する国際基準及び日本アンチ・ドーピング規程に基づき、教育履歴の提出が求められています

この箇所に、アンチ・ドーピング教育履歴の記載をする。